

令和5年度 東京都立江北高等学校

推薦に基づく選抜

小論文

注 意

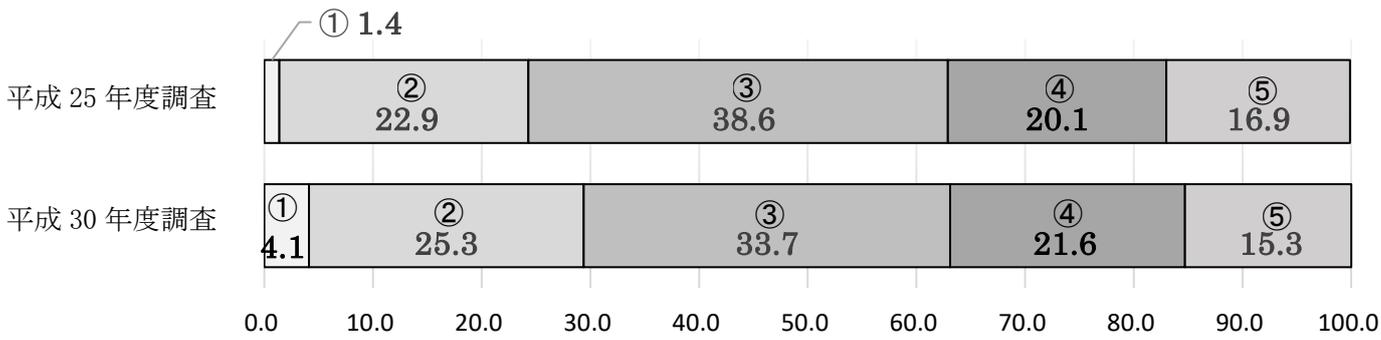
- 1 問題は **1**，**2** で、4ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午後 1 時です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えを全て解答用紙に HB 又は B の鉛筆(シャープペンシルも可)を使って明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

問題は次のページからです

1 下の資料 I は、「異文化理解力・対応力」について、内閣府が平成 25 年度と平成 30 年度に日本と諸外国(韓国, アメリカ, イギリス, ドイツ, フランス, スウェーデン)に行った調査である。グラフ・表 A は、日本の平成 25 年度と平成 30 年度の比較, グラフ・表 B は、日本と諸外国との平成 30 年度の比較を表したものである。グラフ・表 A, グラフ・表 B を活用して、日本と諸外国について「異文化理解力・対応力」を身に付けていると思うかに着目して、どのようなことが読み取れるか、150 字以上 200 字以内で述べなさい。なお、文字・記号・算用数字は、すべて 1 字につき 1 マス使用し、解答欄の 1 マス目から書き始め、段落分けをしないこと。

資料 I 「異文化理解力・対応力」について
 国際社会の一員としての役割を果たしていくために必要な「異文化理解力・対応力」(たとえば、自国と他国の文化・歴史・社会を理解し、互いの生活・習慣・価値観などを尊重して、異なる文化の人々とともに生きていくことができる態度や能力)を、自国の国民はどの程度身に付けていると思いますか。この中から 1 つだけ選んでください。(回答は 1 つ)
 ① 十分に身に付けていると思う
 ② ある程度身に付けていると思う
 ③ どちらかといえば身に付けていると思わない
 ④ ほとんど身に付けていると思わない
 ⑤ わからない

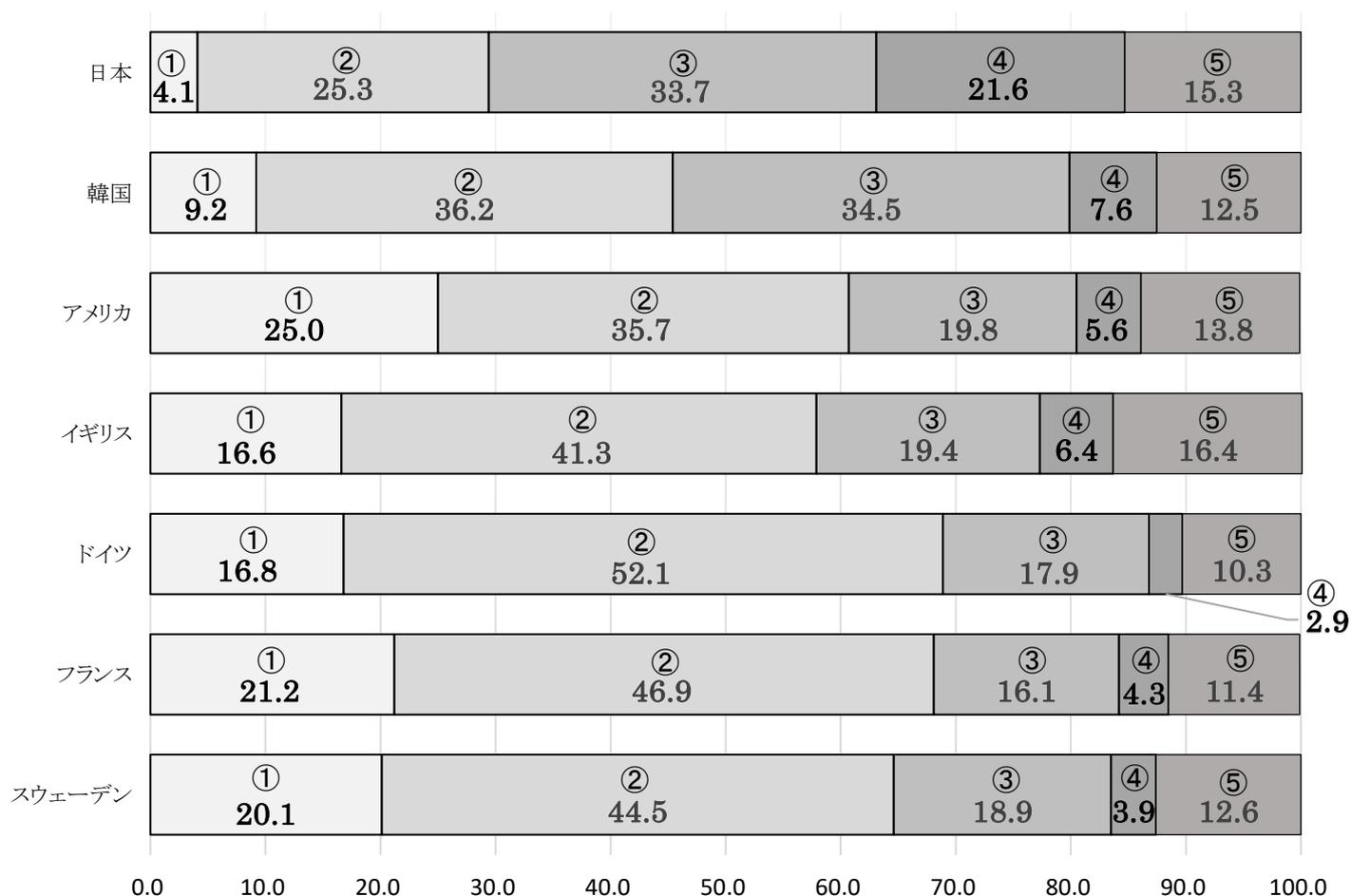
グラフ・表 A 日本の平成 25 年度と平成 30 年度の比較 (単位: %)



	身に付けていると思う	身に付けていると思わない
平成 25 年調査	24.3	58.7
平成 30 年調査	29.4	55.3

内閣府の調査より作成

グラフ・表B 日本と諸外国との平成 30 年度の比較 (単位：%)



	身に付けていると思う	身に付けていると思わない
日本	29.4	55.3
韓国	45.4	42.1
アメリカ	60.7	25.4
イギリス	57.9	25.8
ドイツ	68.9	20.8
フランス	68.1	20.4
スウェーデン	64.6	22.8

内閣府の調査より作成

2 下の資料Ⅱは、世界の*¹母語人口である。資料Ⅲは、世界で話されている言語とその人数である。

資料Ⅳは、*²ウェブサイトにおいて利用されている言語の割合である。江北高校では、英語教育研究推進校として「充実した英語教育による、国際人として活躍できる人材の育成」をめざしている。江北高校の「総合的な探究の時間」の授業において、「なぜ、英語を学ぶのか」をテーマに話し合いが行われ、2つのグループから以下の意見があった。以下の問に答えなさい。

〔注1〕母語……個人が最初に習得する言葉。〔注2〕ウェブサイト……日本では「ホームページ」ということも多い。

グループの意見

Aグループ

資料から、世界で 人が英語を話していることを読み取ることができました。このことから、世界の多くの人と話している英語を話せるようになるため、英語を学ぶべきだと考えました。

Bグループ

3つの資料を読み取りました。世界人口が80億人を超えました。世界人口を80億人とすると、日本語の母語人口は全世界の %になります。私たちは日本に暮らしており、普段の生活で英語を使うことはないため、英語をそこまで学ぶ必要はないと考えました。

問1 空欄 ・ に入る適切な数字を答えなさい。ただし空欄 については、適切な数字を小数第2位を四捨五入して、小数第1位で答えなさい。

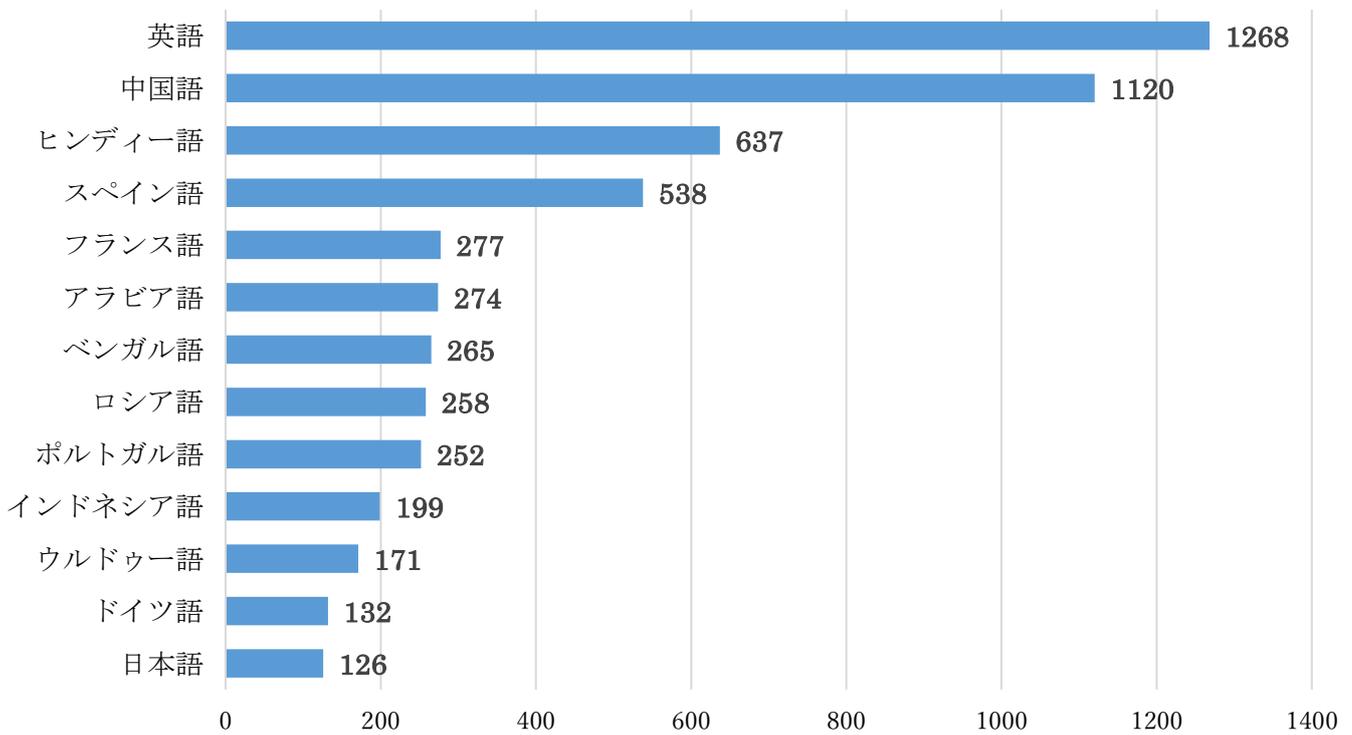
問2 「なぜ、英語を学ぶのか」について、2つのグループのどちらを支持するか明確にした上で、3つの資料を活用し、あなたの考えを300字以上400字以内で述べなさい。なお、文字・記号・算用数字は、すべて1字につき1マス使用し、必要に応じて改行して段落分けをしてもかまいません。書き始めや改行の際には1マスを空欄とすること。

資料Ⅱ 世界の母語人口（単位：100万人）

1位	中国語	885
2位	英語	400
3位	スペイン語	332
4位	ヒンディー語	236
5位	アラビア語	200
6位	ポルトガル語	175
7位	ロシア語	170
8位	ベンガル語	168
9位	日本語	125
10位	ドイツ語	100

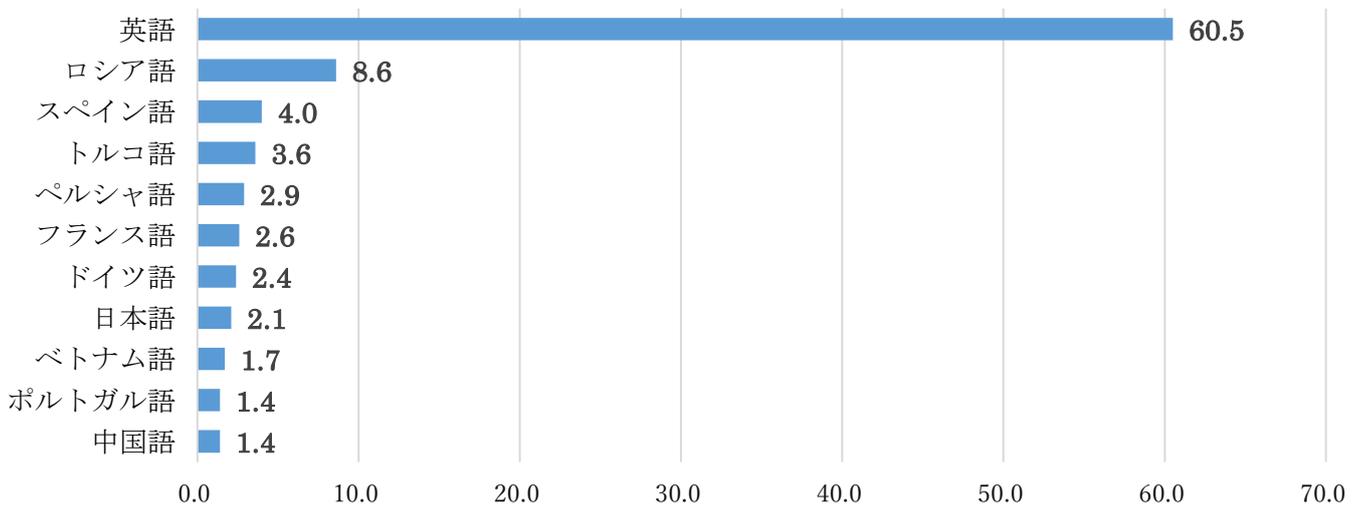
文部科学省中央教育審議会外国語専門部会資料より作成

資料Ⅲ 世界で話されている言語とその人数（単位：100 万人）



文部科学省「大学入試のあり方に関する検討会議（第 21 回）令和 3 年 2 月 17 日」より作成

資料Ⅳ ウェブサイトにおいて利用されている言語の割合（単位：％）



文部科学省「大学入試のあり方に関する検討会議（第 21 回）令和 3 年 2 月 17 日」より作成